

地域とともに未来をひらく

# 東北電力からのお知らせ

本誌は女川原子力発電所が立地している女川町、石巻市と、隣接する登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町の皆さまに、女川原子力発電所の情報を中心にお知らせしていくものです。

津波への備え  
**海拔29メートル**  
 女川原子力発電所の防潮堤

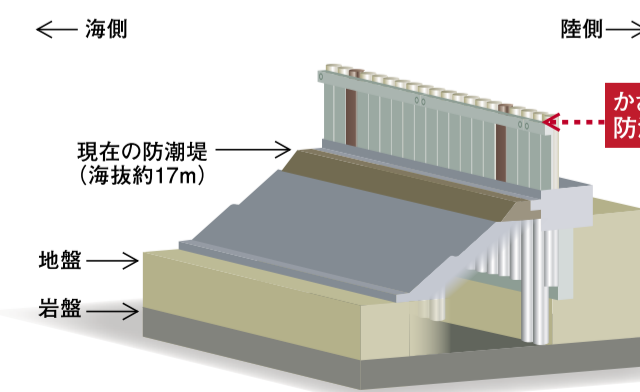


(平成27年4月下旬陸側から撮影)

守り抜いた安全を  
 「より安全へ。」

防潮堤のかさ上げ工事が進んでいます。

女川原子力発電所では、東日本大震災後の最新知見に基づき、最大の津波高さを23.1mと想定しました。その結果を踏まえ、現在の防潮堤(海拔約17m)を海拔約29mまでかさ上げする工事を進めています。



▲女川原子力発電所の防潮堤かさ上げイメージ (2016(平成28)年3月完成予定)



## 女川原子力発電所における地震後の設備健全性確認点検の記録不備について

地域のみなさまにご心配をおかけし、心よりお詫び申し上げます。

女川原子力発電所では平成23年8月より、東北地方太平洋沖地震後の設備の健全性を確認する点検を行ってまいりました。この点検記録について、平成26年度第2回保安検査(平成26年9月1日～9月12日)の中で、記載の不備が確認され、平成26年10月29日、原子力規制委員会より保安規定違反(監視)の判定を受けました。

これを受け、当社は速やかに経営層を含めた全社的な体制を構築し、点検記録の再確認を行ったところ、2号機で4,188件の記録の不備を確認いたしました。(平成27年2月4日公表済み)

引き続き1・3号機の点検記録全数について再確認した結果、2号機と同様の記録不備を、1・3号機合計で474件確認いたしました。(平成27年5月13日公表済み)

なお、予め計画された設備の点検は、記録の不備が確認されたものも含め全て実施されていることを確認しております。

今回の点検記録の不備については、当社および協力企業などの多くの関係者が点検作業等に関与していながら、当社自らが気づき改善することができなかった点を深く反省するとともに、社外有識者の方々からのご意見も踏まえ、組織や業務運営上の問題点の詳細な分析(根本原因分析)と対策の検討を進めてまいりました。

今後、業務実施箇所においては当社および協力企業の相互連携を強化し、ミスを「未然に防ぐ」、ミスに「気づき」「改善する」こと、教育に厚みを加え新たな業務への実践力の向上を図ること、内部監査箇所においては監査機能を強化し、対策の実施状況の計画的な監査を実施することなどに着実に取り組んでまいります。

私どもは、原子力に携わる事業者には高い業務品質が求められることを改めて認識し、今回策定した対策の着実な実行により、原子力品質保証活動の一層の強化に努めてまいります。

再発防止に向けしっかりと取り組んでまいります。

## おでかけ暦

※期間・会場等はすべて予定です。詳細は各市町にお問い合わせください。

6月 June	7月 July	8月 August
<b>女川町</b> <b>我暦 stock in 女川 新時代編</b> 期間:6月7日(日)10:00～16:00(予定) 会場:女川町立女川小学校校庭 <b>BAIRA ONAGAWA2015</b> 期間:7月25日(土) 会場:未定 <b>マリナル女川おさかな市場</b> <b>【いか祭り(予定)】</b> 期間:8月8日(土)～9日(日) 10:00～15:00 会場:マリナル女川おさかな市場	<b>東松島市</b> <b>とっておきの音楽祭 東まつしま2015</b> 期間:7月12日(日) 会場:JR矢本駅周辺および旧国道45号線矢本商店街 <b>鳴瀬流灯花火大会</b> 期間:8月16日(日) 会場:鳴瀬大橋上流河川敷 <b>東松島夏まつり</b> 期間:8月22日(土) 会場:JR矢本駅周辺および旧国道45号線矢本商店街	<b>涌谷町</b> <b>涌谷町釣り公園へら鮒釣り大会</b> 期間:6月21日(日) 会場:涌谷町釣り公園(参加料2,500円) <b>探燈大護摩供(さいとうおおごまく)</b> 期間:7月11日(土) 会場:鶴岳山石仏広場 <b>わくや夏まつり納涼花火大会</b> 期間:8月14日(金) 会場:各商店街から江合川河川敷
<b>石巻市</b> <b>開田裕治直筆ウルトラ怪獣イラスト付サイン会(先着50名※当日受付限定)</b> 期間:6月21日(日)13:00～ 会場:石ノ森美術館 ※4月25日(土)～6月21日(日) 怪獣絵師 開田裕治原画展を開催。 <b>牧山あやめ祭り</b> 期間:6月下旬～7月上旬 会場:牧山零羊崎神社 <b>石巻川開き祭り</b> 期間:7月31日(金)、8月1日(土) 会場:旧北上川下流、中心市街地	<b>美里町</b> <b>第26回活き生き田圃フェスティバル</b> 期間:6月13日(土)、14日(日) 会場:美里町南郷庁舎前広場、野外活動施設ほか <b>パラフェスティバル・2015</b> 期間:6月下旬 会場:ハニエローズなんごう <b>えきフェスMISATO・2015</b> 期間:8月2日(日) 会場:JR小牛田駅および駅東ロータリー	
<b>登米市</b> <b>あじさい園</b> 期間:7月上旬～7月下旬 会場:石越町:チャチャワールドいしこし <b>佐沼夏まつり</b> 期間:7月25日(土)～26日(日) 会場:迫町: 一市八日町通り、中江中央公園 他 <b>2015もっこり牛まつり</b> 期間:8月14日(金) 会場:南方町: 南方中央運動広場(南方総合支所前)	<b>南三陸町</b> <b>志津川湾銀ざけまつり福興市</b> 期間:6月28日(日)9:30～14:30 会場:南三陸町内 <b>志津川湾夏まつり福興市</b> 期間:7月25日(土)13:00～21:00 会場:南三陸町内 <b>八幡川かがり火まつり福興市</b> 期間:8月29日(土)13:00～21:00 会場:南三陸町内	

## 地元のひとのふれあいが南三陸町の大きな魅力

南三陸町は志津川・歌津・戸倉・入谷の4地区からなり、豊かな海と山に囲まれ、四季を通じて食材に恵まれています。これからはウニやホヤがおいしい季節です。

また、町では農業や漁業などの体験を取り入れた体験型観光が早くから始められ、観光客と気軽に打ち解ける雰囲気生まれていました。現在も、農漁家民宿の中には、一緒に料理を作る郷土料理体験ができる場所もあり、新しい交流の形が生まれています。

「南三陸町は春夏秋冬毎月かわる旬の食があります。食べて、泊まって、買ってもらうだけでなく、町の人々とふれあいを楽しんでもらうことが大切で、観光の魅力にもなっています。」それを交流につなげたいと、東京から来て3年目になる南三陸町観光協会の高橋未来さんは語ります。



さんさん商店街に隣接する南三陸町観光協会の元気で笑顔あふれる女性スタッフ



南三陸町観光協会 高橋 未来さん

## 海に面した高台で再スタートした民宿

南三陸町内には、民宿が数多くあり、旬の味わいと心からのおもてなしで、評判は全国に広がっています。震災後は民宿は激減しました。現在は町全体で15軒に増えました。開業の準備が進むところもあります。民宿の再建を楽しみに問い合わせをしてくる方もいるとのこと。



明神崎荘から見える志津川湾(手前左が明神崎)

そんな南三陸町の袖浜地区には、かつて12軒もの民宿がありました。佐々木昌則さんが経営していた民宿「向」もそのひとつ。



「カキや自家製タコ飯に自信があります」(明神崎荘ご主人・佐々木さん)

震災後、すべてを失った佐々木さんは、避難先の広島でもこれでいいのだろうかと思々とした日々を過ごしました。

「心がすっきりしなかった。」と平成25年に民宿の再建を決定し、あれだけの震災を経験したのだから、何があっても負けないぞ!と、カキ・ワカメの養殖をしながら今年3月中旬に念願の営業再開にこぎつけました。

地元の仲間やボランティアの人も精神的な支えになりました。当面は家族と離れ奮闘する毎日です。目の前に突き出た小さな岬・明神崎から、明神崎荘という新しい名前が付けられました。

## さらなる交流も考えています



南三陸町の情報を知ることができるポータルセンター

地域の人の声で始まり、復興のシンボルともなり、毎月開催している「福興市」でも、町を応援する各地の企業や団体、ボランティアの方々との交流がさらに深まっています。

また、もっと南三陸町を知ってもらうために、歩いて回るツアーも実施しているとのこと。

「この町のよさは、魅力的な場所や人を知っていただき、そこに会いに行くという、南三陸のストーリーがあるということなんです。」高橋さんのまなざしは、さらに熱くなっていました。

食を味わい、自然を感じ、南三陸町の人に会いに来ませんか?

■南三陸町の宿泊施設に関するお問い合わせ  
 南三陸町観光協会 TEL 0226-47-2550 <http://www.m-kankou.jp/>

女川原子力発電所の安全対策をホームページで詳しく紹介しています。

<http://www.tohoku-epco.co.jp>

お問い合わせはこちらまで

<p>地域とともに未来をひらく  <b>東北電力</b>                  宮城支店 TEL022-225-2141</p>	<p>お引越・アンペア変更                  0120-175-266</p>	<p>停電・緊急時のお問い合わせ                  0120-175-366</p>	<p>その他のお問い合わせ                  0120-175-466</p>
--	---	--	---

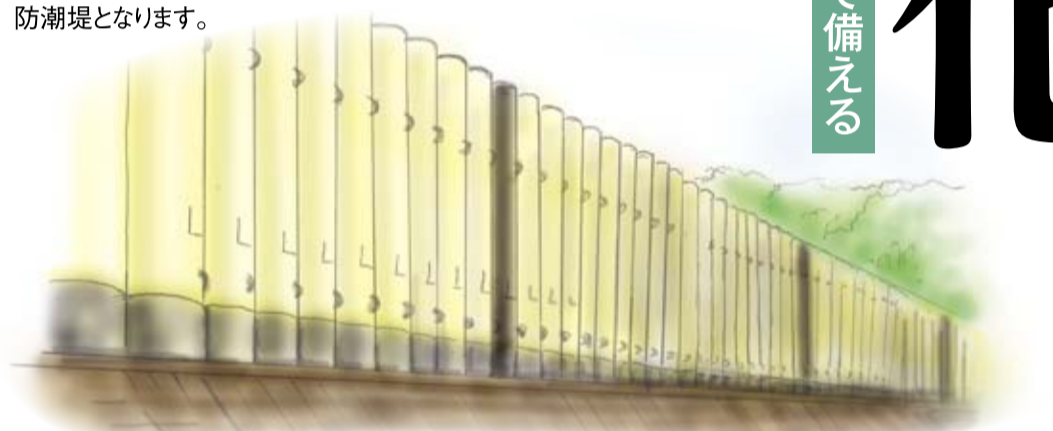
※お電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。 ※お問い合わせの内容によっては、担当部署からの折り返しの電話により対応させていただきます。

# 安全対策に、 終わりなし!

～不断の努力を続けています～

## 海抜29m・全長800mの 防潮堤を建設中

現在、発電所では防潮堤のかさ上げ工事を実施しています。約680mの鋼管式鉛直壁と約120mの土にセメントを加えて強度を高めたセメント改良土による堤防で構成され、完成後は海抜29m、全長800mの防潮堤となります。



### 実施済みの対策例

#### 高さ約3mの防潮堤を設置

発電所の敷地の上にセメント改良土を使用した高さ約3mの防潮堤(海抜17m)を、長さ約600mにわたって設置しました。



※イラストはイメージです。

# 強化

既存の設備を強化して備える



対策は  
いろいろあった  
ほうがいい

複数の対策で万が一に備える

# 多様化

## ガスタービン発電機を 2台配備します

既に配備している大容量電源装置と仕組みが異なるガスタービン発電機を高台に配備。原子炉などを冷やすために必要な大型のポンプに電力を供給します。

### 実施済みの対策例

#### 空冷式の大型ディーゼル 発電機を3台設置

高台に空冷式の大型ディーゼル発電機(大容量電源装置)を3台設置しました。万一の場合も、この装置で、原子炉などを冷やすために必要な大型のポンプに電力を送ることができます。



#### 7台の電源車を配備

8トントラックにディーゼル発電機を搭載した電源車を7台配備しています。



## 大容量送水ポンプ車を 新たに4台配備

万が一、原子炉や使用済燃料プールの冷却ができなくなった場合に備え、冷却に必要な水を送ることができる大容量送水ポンプ車を、多重化・分散配置の観点から計4台配備します。



写真は配備済みの送水車

### 実施済みの対策例

#### 直流電源設備を 追加設置



緊急時、原子炉減圧操作に必要な機器への直流電源供給を強化するため、蓄電池および充電設備を建屋内に追加設置しました。

同じ設備を複数設置してバックアップ

# 多重化

鋼管式鉛直壁  
延長:約680m

セメント改良土による堤防  
延長:約120m

防潮堤完成予想図(かさ上げ後)

### 女川原子力発電所2号機の 新規制基準適合性に係る審査状況について

#### 安全対策について国の審査が進んでいます

平成25年7月に施行された新規制基準は、重大事故を防止するために従来の規制基準を強化するとともに、重大事故やテロが発生した場合に対処するための基準を新設しました。

女川原子力発電所2号機については、平成25年12月27日の新規制基準適合性審査申請以降、原子力規制委員会の審査を受けており、これまでに審査会合が43回行われています。(平成27年4月末現在)

新規制基準の項目		女川原子力発電所2号機の 審査会合の開催実績	
設計基準 対象施設 (従来の規制 基準から 強化または 新設)	地震	8回	
	自然現象に 対する対策	津波	2回
		その他自然現象 (竜巻・火山活動等)	7回
	火災防護対策	1回	
	内部溢水対策	1回	
重大事故等 対処施設 (新設)	その他(静的機器、外部電源対策等)	5回	
	炉心損傷防止対策	14回	
	格納容器破損防止		
	使用済燃料プールおよび 運転停止中の燃料損傷防止		
	放射性物質の拡散抑制	3回*	
事故対応の基盤整備			

審査会合は、上記以外に2回開催されています。(申請の全体概要、主な論点提示)  
\*これらの審査項目は、設計基準対象施設【その他】にも該当。

女川原子力発電所は、地域の皆さまの安心につながるよう、これからもさらなる安全性向上に取り組んでまいります。